

令和元年度 上半期 財政状況

(9月30日現在)

問 財務課(☎62-1006)

市では毎年6月と12月、税金がどのように使われたかをお知らせするため、一般会計、特別会計、企業会計の財政状況を公表しています。今回は、元年度上半期(9月30日現在)の予算執行状況をお知らせします。

市有財産の状況

土地
3,388,592.37㎡

建物
563,627.33㎡

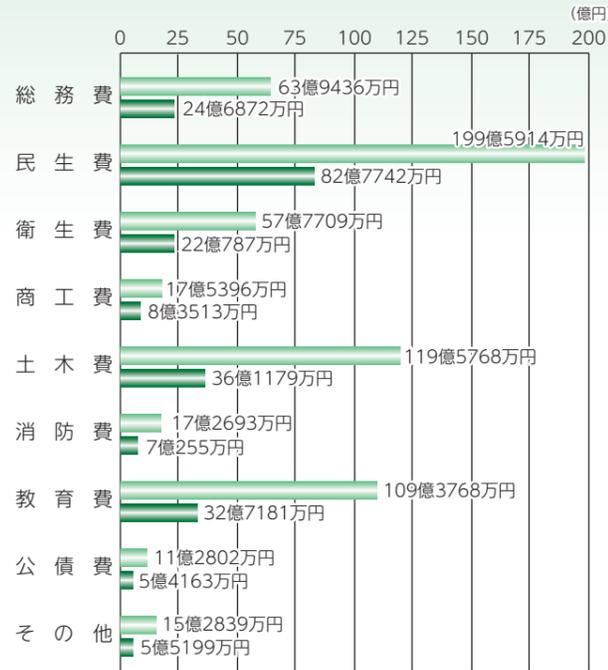
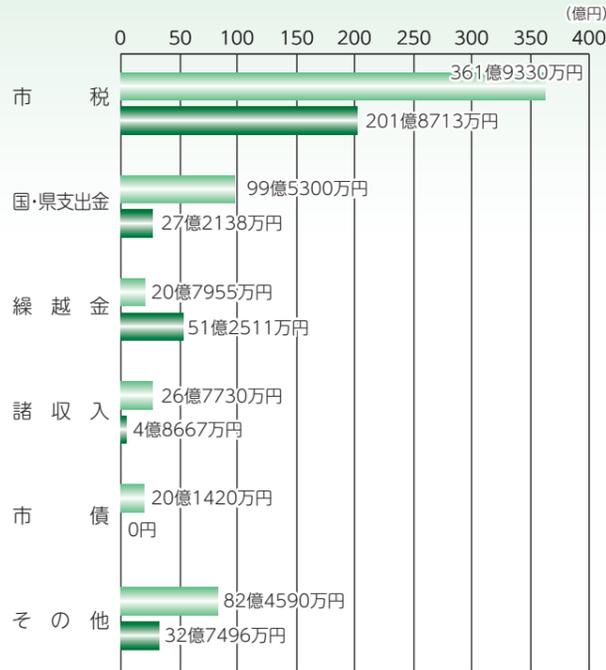
基金
259億1501万円

◆一般会計(歳入)

予算現額 611億6325万円
収入済額 317億9525万円
収入率 52.0%

◆一般会計(歳出)

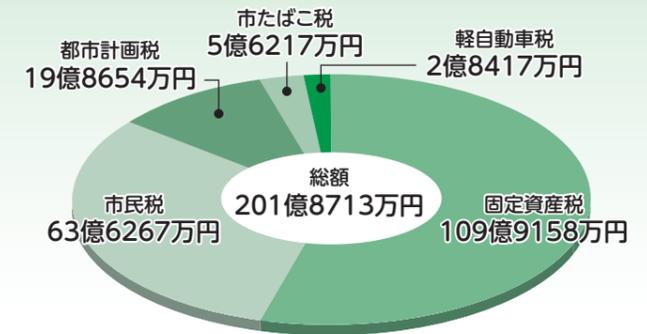
予算現額 611億6325万円
支出済額 224億6891万円
執行率 36.7%



市税の負担状況

1人当たり 132,309円
1世帯当たり 302,424円

市税収入済額内訳



市債の状況

◆一般会計

借入目的	現在高
総務債	7億5804万円
民生債	5億2979万円
衛生債	1億1470万円
土木・公営住宅債	10億4420万円
消防債	1769万円
教育債	51億1374万円
その他	13億9126万円
計	89億6942万円

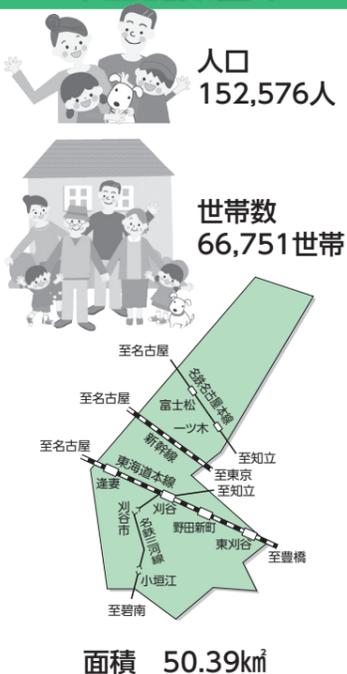
◆特別会計

会計区分	現在高
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	1億1986万円

◆企業会計

会計区分	現在高
水道事業	22億6197万円
下水道事業	198億9932万円
計	221億6129万円

◆基礎数値◆



◆特別会計

会計区分	予算現額	収入済額	支出済額
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	12億4975万円	9億8041万円	3369万円
刈谷野田北部土地区画整理事業	1億2034万円	2億224万円	1089万円
国民健康保険	119億5666万円	58億3920万円	43億4857万円
後期高齢者医療	19億2606万円	6億1475万円	3億7335万円
介護保険	91億8824万円	42億7591万円	32億932万円

◆企業会計

区分	予算現額	執行額
水道事業	収益的収入	28億9440万円
	資本的収入	4億5709万円
下水道事業	収益的収入	36億3361万円
	資本的収入	16億1735万円
水道事業	収益的支出	13億239万円
	資本的支出	7億9349万円
下水道事業	収益的支出	16億3883万円
	資本的支出	5億8584万円
水道事業	資本的収入	4511万円
	資本的支出	9530万円
下水道事業	資本的収入	7億9589万円
	資本的支出	13億6736万円

健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方公共団体は毎年度、財政状況をチェックするため健全化判断比率を示す4つの指標と公営企業の資金不足比率を算定し、公表することとなっています。そこで、市の30年度決算に基づく数値をお知らせします(表中の「-」は、実質的な赤字、将来負担、資金不足が発生していないことを表しています)。

◆健全化判断比率 (単位：%)

指標名	刈谷市	早期健全化基準
実質赤字比率	-	11.61
連結実質赤字比率	-	16.61
実質公債費比率	△3.0	25.0
将来負担比率	-	350.0

実質赤字比率 一般会計等が黒字か赤字かを示す指標
連結実質赤字比率 全会計で見た場合の黒字か赤字かを示す指標
実質公債費比率 一般会計等が負担する公債費の比率を示す指標
将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき負債の比率を示す指標
早期健全化基準 財政健全化への取組みが必要となる基準値

◆資金不足比率 (単位：%)

公営企業会計名	刈谷市	経営健全化基準
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計	-	20.0
刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計	-	
水道事業会計	-	
下水道事業会計	-	

資金不足比率 企業の経営が黒字か赤字かを示す指標
経営健全化基準 財政健全化への取組みが必要となる基準値

総評・・・刈谷市は、全ての指標で基準を下回り、財政状況は健全であると言えます。

※各項目は、一部端数調整したものを除いて、表示単位未満を四捨五入しています。